



No.73 今日からオリンピック



(画像引用元:Yahoo, TOKYO 2020 Olympic Paralympic Guide, twitter)

今日は2021年7月24日。一生に何度もあることではないので、日本でのオリンピック開幕の日によせて一言。

スタートからトラブル続きの東京2020でした。開会式までたどり着くだけでも関係者の苦労は並大抵ではなかったでしょう。しかも国民から冷たい視線が感じられるとすると、これほど報われない仕事はないですね。

でも本来オリンピックって圧倒的な共感の場を創り出すことができるところでしょう。スポーツには感動、驚き、ワクワク、ハラハラ、喜び、悔しさ…喜怒哀楽の全てがありますよね。その最高潮となる瞬間と一緒に味わいたい！だから皆惹きよせられるし、世界中の目を釘付けにする力があります。

プレイ中だけでなく、そこに至る練習の厳しさや人との出会いのようなドラマがある。さらにアスリートの周辺で、例えば海外選手を応援しようと工夫を凝らすボランティアや子供たちがいて、さまざまな思いを育む場を提供してくれるのも素晴らしい！残念ながら今回そのような機会の多くが失われました。逆に今回削ぎ落としかなかつたものの中にこそ大事なものがあるということを、コロナが見せつけたような気がします。

オリンピックはアスリートの成績、金メダルの数が分かればいいってもんじゃない！実現に至らなかった取り組みなど、表に見えないけれども大事なスポーツの価値に焦点を当てたいものです。



谷口博文の政策イノベーション

Date :2021年07月25日

「こんな緊急事態のさなか、何のためにやるの？」という問い合わせは、理由を聞くというより、やめたほうがいいと言うための問い合わせに聞こえるのですが、コロナがなければオリンピックの開催意義に異論を唱える人は少ないと思います。フランスの放送局は日本人の間にオリンピックへの敵意さえ感じると報道していましたが、コロナへの敵意ではあっても、それが人への敵意に見えるのは残念。

コロナのために自分が大事にしている価値、それは例えば家族と会うとかライブをやるとか人によって違うわけですが、それが実現できなくても「やむを得ない」とか不要不急とか言われるのは辛いことです。しかし自分が犠牲になったのだからお前も犠牲になれ、というのはもっと悲しい。

大事にしている価値の実現のために頑張っている人がいたら、やむを得ないと切り捨てず、どうやったらそれが少しでも実現できるか、医療関係者も専門家も皆一緒にになって知恵を振り絞ってほしいと思います。

まだ現在進行形です。競技中は、何が起こるかわからない、とよく言いますが、いまはオリンピックというイベント自体に何が起こるかわかりません。運営している人は何やっても叱られて本当に大変だけど、人を責めて分断を大きくするより、最後まで一緒に価値を高める努力をしたいものです。